

札幌遠友塾

自主夜間中学

**数 学 科**

第1学年

2012年度 授業実績

第1学年

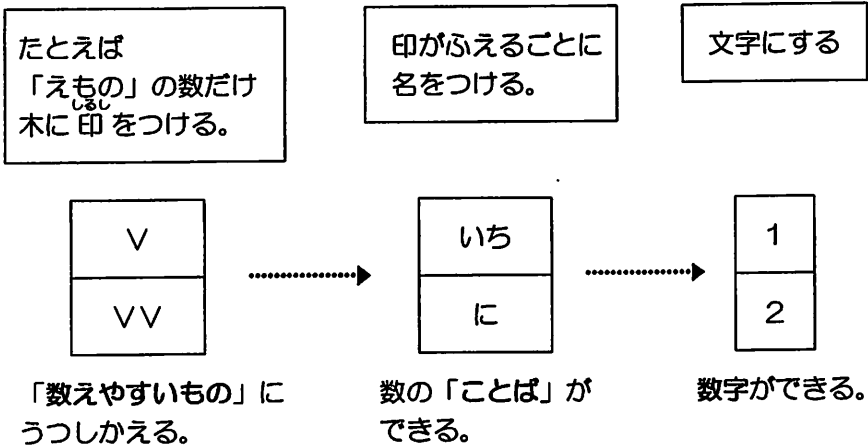
学期	回数	月日	単元	タイトル	時数	授業内容	加外辦
1 学 其 月 9 時間	1	04月18日	【I】 数につて	数について①	1	・数えるということ ・数のよび名と数字 ・数字のいろいろ	亀谷
	2	05月02日		数について②	1	・数の表し方 ・数の持つ意味 ・「0」のこと	亀谷
	3	05月23日		タイルについて	1	・数の大きさと位取り ・数の順序と位取り	亀谷
	4	06月06日	【II】 四則計算	加法①	1	・たし算の意味 ・くり上がりのないたし算	亀谷
	5	06月13日		加法②	1	・1ケタのくり上がりのあるたし算 ・2ケタ以上のくり上がりのあるたし算	亀谷
	6	06月27日		減法①	1	・ひき算の意味 ・くり下がりのないひき算	亀谷
	7	07月04日		減法②	1	・10からのひき算 ・くり下がりのあるひき算	亀谷
	8	07月11日		減法③	1	・くり下がりのあるひき算	亀谷
	9	07月25日		加法と減法	1	・たし算とひき算の復習	亀谷
「お中元」							
2 学 其 月 10 時間	10	08月29日		乗法①	1	・かけ算の意味 ・5のだんの九九	亀谷
	11	09月05日		乗法②	1	・2のだんの九九 ・7のだんの九九	亀谷
	12	09月19日		乗法③	1	・3のだんの九九 ・1のだんの九九 ・8のだんの九九	亀谷
	13	10月03日		乗法④	1	・6のだんの九九 ・9のだんの九九 ・4のだんの九九	亀谷
	14	10月17日		乗法⑤	1	・0をかける ・0にかける ・かけ算の交換法則 ・(2ケタ) × (1けた) くり上がりのないかけ算	亀谷
	15	10月24日		乗法⑥	1	・10の位からくり上がりのあるかけ算 ・1の位からくり上がりのあるかけ算	亀谷
	16	11月07日		乗法⑦	1	・大きな数をかける(くり上がりなし) ・大きな数をかける(くり上がりあり)	亀谷
	17	11月21日		乗法⑧	1	・いろいろなかけ算 ・かけ算の工夫	亀谷
	18	11月28日		除法①	1	・わり算の意味 ・あまりのあるわり算	亀谷
19	12月12日	除法②	1	・少し大きな数のわり算 ・もっと大きな数のわり算	亀谷		
「お歳暮」							
3 学 其 月 6 時間	20	01月09日		除法③	1	・0がたつわり算 ・計算の途中の0 ・商がたたない	亀谷
	21	01月23日		除法④	1	・大きな数でわる① ・商のたてかた	亀谷
	22	02月06日		除法⑤	1	・大きな数でわる②	亀谷
	23	02月27日		四則計算①	1	・かけ算・わり算とたし算・ひき算のまじった計算	亀谷
	24	03月06日		四則計算②	1	・かっこのある式の計算 ・かけ算とわり算だけがまじった計算	亀谷
「進学祝い」							
					合計	24	



人は生まれつき数を数えられたわけではありません。身につけるのには苦勞した  
 と思います。そこで今、私たちが使っている数について、歴史を振り返ってしまし  
 よう。

1 数えるということ

むかし、私たちの祖先が狩りをして暮らしていたころ……  
 「えもの」を数えるのに、いろいろ工夫しました。



2 数のよび名と数字

① 大昔は、(いち、に、たくさん) だけでした。

② 日本で文字がなかった時代のよび名。

(ひ、ふ、み、よ、い、む、なな、や、ここの、と、……)

(はたち、みそ、よそ、いそ、……、もも……)

③ 中国から伝わってきた漢数字と読み方

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

④ 明治時代に入り、10個の算用数字(アラビア数字)を使うようになる。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

\*「0」の読み方

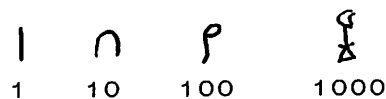
・(ゼロ) …0歳児、ゼロ戦    ・(れい 零) …零点、零下5度

\*次の字は何と読みますか。

一番 ( いちばん )                      一安心 (                      )  
 三角 (                      )                      三日月 (                      )

3 数字のいろいろ

① 古代エジプト数字(絵文字)    5000年前



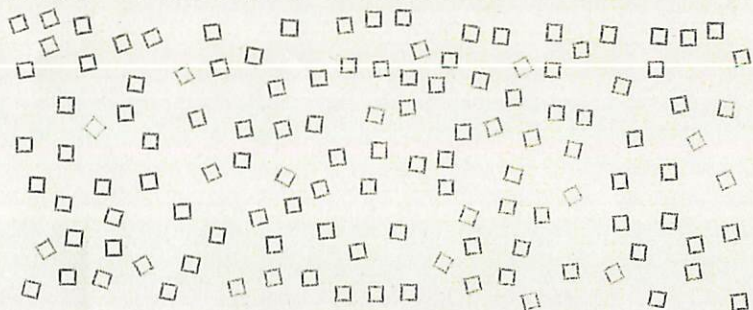
② ローマ数字

I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
L	C	D	M						
50	100	500	1000						



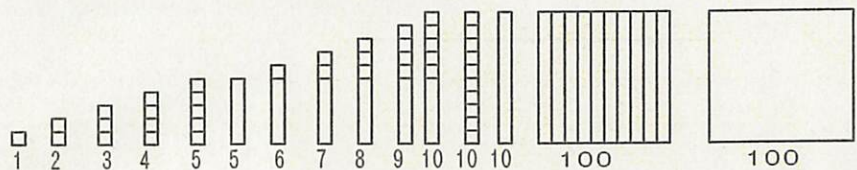
1 <sup>かず</sup> <sup>おお</sup> <sup>くらい</sup>  
数の大きさと位どり (タイルであらわすと)

☆ タイルはいくつありますか。どんな方法で調べると便利でしょう。

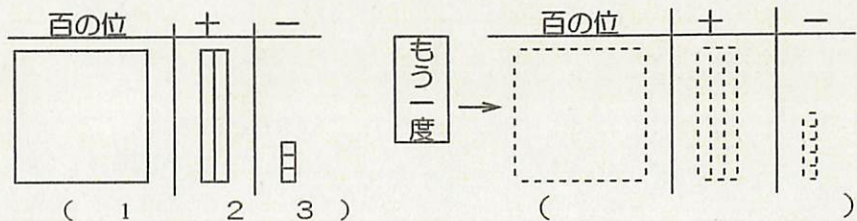


ひゃくのくらい 百の位	じゅうのくらい 十の位	いちのくらい 一の位
( )	( )	( )

☆ タイルで数の大きさを確かめましょう。

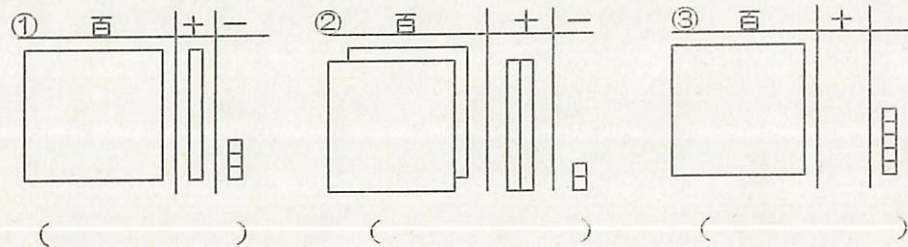


例1 123をタイルで表しましょう。



問1 タイルを使って、152、231を表しましょう。

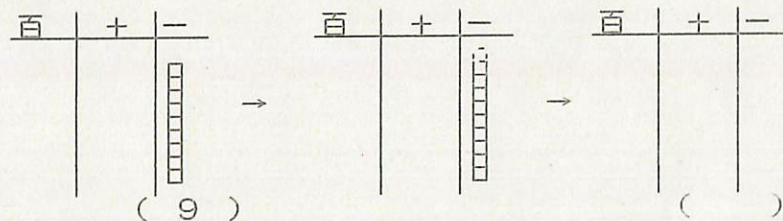
問2 次のタイルはいくつですか。



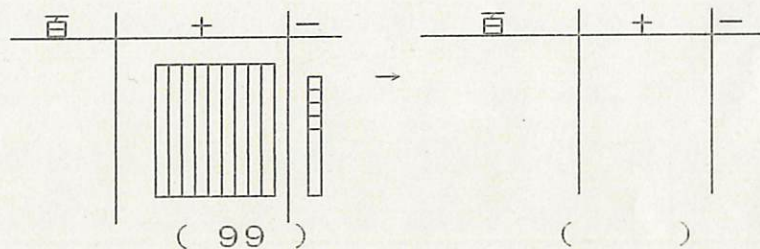
2 数の順序と位取り

☆ 次の数をタイルで表しましょう。

① 9 ..... → 1 増えると ( )



② 99 ..... → 1 増えると ( )



次の位へ くり上がる といいます。

例2 続きの数を3つ書きましょう。

8 → ( 9 10 11 )

問3 続きの数を3つ書きましょう。

① 68 → ( )

② 199 → ( )



1 数の表し方

小さな子どもは、ものを数えるとき、まず片手の指を使って数え、足りなくなったらもう一方の手の指を使います。両手の指の数をひとまとめにして数えるのは、大変便利でした。これが十進法の始まりです。

★十進法の表し方

0～9までの十個の数字を書く部屋（位という）が、左に向かって、きまりを持って並んでいます。部屋の数を桁数と言います。

- ① 一つの位の数は、右隣の同じ数の十倍。（十進法）
- ② ある位の数が一つもないとき、必ず「0」と書く。しかし読まない。
- ③ 一つの位には、一つの数字しか入らない。
- ④ 十倍ごとの数の呼び名も多くなっていくので、4桁ごとの名前を新たにつけて、一、十、百、千をそえて使う。  
(位の名と読み方)

数							2	4	7	0	3	
位の名前	千億	百億	十億	一億	千万	百万	十万	一万	千	百	十	一

☆数の単位はさらに、兆、京、垓、秭、穰、溝、澗、正、載、極、恒河沙、阿僧祇、那由他、不可思議、無量劫まで続きます。

例1 上の「24703」は、「二万四千七百三」と読みます。

問1 次の数を読んで下さい。

右のように、4桁ごとに区切ると、読みやすい。	①	2 8 4
	②	3 7 7 6
	③	3 4 6 0 0 2
	④	5 5 9 4 0 0 0

例2 「二千七十五」は、次のように書きます。 2 0 7 5

問2 次の数を、算用数字で書いてください。

- ① 三百二十六
- ② 二千九
- ③ 三十五万四千九百

2 数の持つ意味

私たちは、生活の中で数を言葉として、どのように使っているでしょうか。

3個 3人 3パック 3台 3時間 3 <sup>キ</sup> 3 <sup>ツ</sup> 3 <sup>ダ</sup> ……	➡	ものの量を表す <small>しゅうごうすう</small> (集合数)
3位 3番目 3月3日 3人目 北3条西3丁目 ……	➡	ものの順序・位置を表す <small>じゆんじよ</small> (順序数)

私たちは、数の後ろに言葉をつけて、集合数・順序数を使い分けています。

問3 次の問題に答えましょう。

- ① かめ 3匹に○をつけてください。
- ② ねこ 4匹に○をつけてください。
- ③ 左から4番目のいぬに、○をつけてください。
- ④ 右から5番目のてんとうむしに、○をつけてください。

3 「0」のこと

★いちこの数を( )の中に入れてください。

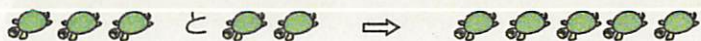
( )	( )	( )

はじめにいくつかあったものが、ない、始めから何もない状態を、数の「0」で表します。

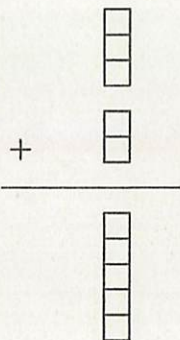


1 たし算の意味 <たし算のことを加法と言います>

例1 かめが3匹います。新たに2匹飼いました。合わせると、全部で何匹になりますか。



タイルで考えると、



しき式	$3 + 2$
ひつさん筆算	$\begin{array}{r} 3 \\ + 2 \\ \hline 5 \end{array}$
こたえ	5匹

記号…+たす、くわえる、(くっつける、あわせる) プラスともいう。

…= (イコール) …おなじ、等しい。

「たし算」ではたす順番をかえても「答」は、かわりません。

これを、「加法の交換法則」といいます。

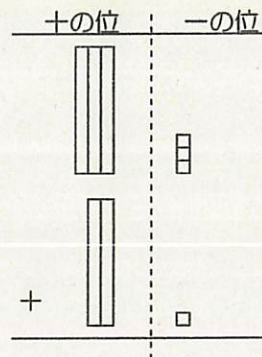
問1 9までのたし算をしましょう。

①  $\begin{array}{r} 3 \\ +2 \end{array}$     ②  $\begin{array}{r} 3 \\ +3 \end{array}$     ③  $\begin{array}{r} 4 \\ +3 \end{array}$     ④  $\begin{array}{r} 5 \\ +2 \end{array}$     ⑤  $\begin{array}{r} 5 \\ +3 \end{array}$

⑥  $\begin{array}{r} 5 \\ +4 \end{array}$     ⑦  $\begin{array}{r} 6 \\ +1 \end{array}$     ⑧  $\begin{array}{r} 6 \\ +2 \end{array}$     ⑨  $\begin{array}{r} 7 \\ +2 \end{array}$     ⑩  $\begin{array}{r} 8 \\ +1 \end{array}$

例2 ある学年の受講生は33人、スタッフは21人です。あわせて何人でしょう。

タイルで考えると、



式	-----
筆算	$\begin{array}{r} \text{十の位} \quad \text{一の位} \\ 3 \quad 3 \\ + 2 \quad 1 \\ \hline \end{array}$
答	-----

筆算で計算するときには、位をそろえて、一の位から同じ位どうして計算します。

問2 位取りに気をつけて、筆算に直して計算しましょう。

①  $42 + 15 =$   

$$\begin{array}{r} \text{十の位} \quad \text{一の位} \\ 42 \\ + 15 \\ \hline \end{array}$$

②  $37 + 2 =$   

$$\begin{array}{r} \text{十の位} \quad \text{一の位} \\ 37 \\ + 2 \\ \hline \end{array}$$

③  $4 + 52 =$   

$$\begin{array}{r} \text{十の位} \quad \text{一の位} \\ 4 \\ + 52 \\ \hline \end{array}$$

④  $50 + 30 =$   

$$\begin{array}{r} \text{十の位} \quad \text{一の位} \\ 50 \\ + 30 \\ \hline \end{array}$$

問3 次の計算をしましょう。

①  $\begin{array}{r} 2 \quad 6 \\ + \quad 2 \\ \hline \end{array}$

②  $\begin{array}{r} 5 \quad 3 \\ + 4 \quad 2 \\ \hline \end{array}$

③  $\begin{array}{r} 6 \quad 4 \\ + 2 \quad 4 \\ \hline \end{array}$

問4 大きな数のたし算に挑戦しましょう。

①  $\begin{array}{r} 4 \quad 2 \quad 8 \\ + 3 \quad 4 \quad 1 \\ \hline \end{array}$

②  $\begin{array}{r} 7 \quad 5 \quad 3 \\ + 1 \quad 0 \quad 5 \\ \hline \end{array}$

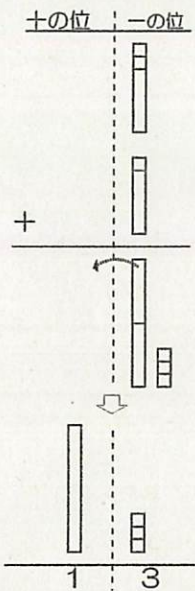
③  $\begin{array}{r} 2 \quad 6 \quad 3 \quad 7 \\ + 4 \quad 2 \quad 6 \quad 1 \\ \hline \end{array}$



1 1けたの、くり上がりのあるたし算

例1 兄のメダカは7匹います。同じ水槽に弟が6匹すいそ入れました。水槽には何匹のメダカが泳いでいますか。

タイルで考えると、



式	-----	
筆算	十の位	一の位
	+	7
	+	6
	1	3
答	-----	

次の位にくり上がる、といいます。

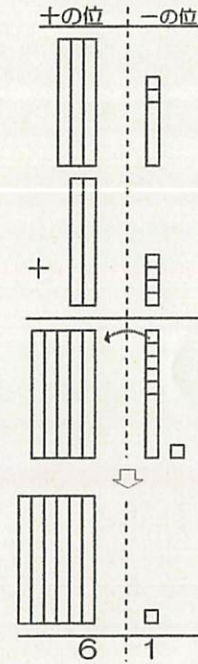
問1 次の計算をしましょう。

- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| ① $\begin{array}{r} 5 \\ + 7 \\ \hline \end{array}$ | ② $\begin{array}{r} 6 \\ + 6 \\ \hline \end{array}$ | ③ $\begin{array}{r} 6 \\ + 8 \\ \hline \end{array}$ | ④ $\begin{array}{r} 5 \\ + 5 \\ \hline \end{array}$ |
| ⑤ $\begin{array}{r} 3 \\ + 8 \\ \hline \end{array}$ | ⑥ $\begin{array}{r} 4 \\ + 7 \\ \hline \end{array}$ | ⑦ $\begin{array}{r} 4 \\ + 9 \\ \hline \end{array}$ | ⑧ $\begin{array}{r} 9 \\ + 1 \\ \hline \end{array}$ |

2 2けた以上の、くり上がりのあるたし算

例2 37+24 を考えます。

タイルで考えると、



筆算で考えると、

$$\begin{array}{r} \text{十の位} \quad \text{一の位} \\ 3 \quad 7 \\ + 2 \quad 4 \\ \hline 6 \quad 1 \end{array}$$

- ①一の位の計算をする。
- ②十の位にくり上がる。
- ③十の位の計算をする。

くり上がった「1」は必ずどこかに書いておきます。  
3けたのたし算も4けたのたし算も同じことをくり返します。

問2 次の計算をしましょう。

- |   |   |   |
|---|---|---|
| ① $\begin{array}{r} 5 \quad 9 \\ + \quad 4 \\ \hline \end{array}$   | ② $\begin{array}{r} 2 \quad 9 \\ + \quad 6 \\ \hline \end{array}$   | ③ $\begin{array}{r} 4 \quad 8 \\ + \quad 3 \\ \hline \end{array}$   |
| ④ $\begin{array}{r} 1 \quad 8 \\ + 6 \quad 7 \\ \hline \end{array}$ | ⑤ $\begin{array}{r} 2 \quad 5 \\ + 6 \quad 5 \\ \hline \end{array}$ | ⑥ $\begin{array}{r} 4 \quad 9 \\ + 4 \quad 3 \\ \hline \end{array}$ |

例3 46+275 を考えます。(くり上がりが2回あります)

$$\begin{array}{r} \text{百の位} \quad \text{十の位} \quad \text{一の位} \\ 4 \quad 6 \\ + 2 \quad 7 \quad 5 \\ \hline 3 \quad 2 \quad 1 \end{array}$$

問3 くり上がりに気をつけて計算しましょう。

- |   |   |   |
|---|---|---|
| ① $\begin{array}{r} 8 \quad 7 \\ + 3 \quad 5 \\ \hline \end{array}$ | ② $\begin{array}{r} 2 \quad 9 \quad 3 \\ + 5 \quad 6 \quad 7 \\ \hline \end{array}$ | ③ $\begin{array}{r} 9 \quad 0 \quad 3 \\ + 1 \quad 2 \quad 7 \\ \hline \end{array}$ |
|---|---|---|



1 ひき算の意味

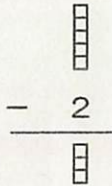
＜ひき算のことを<sup>げんぱう</sup>減法といいます＞

☆1つの数からある数を取り去って、残りの数を求めたり、比べて差を求める計算を、ひき算といいます。

例1 5匹のかめがいます。2匹逃げました。何匹残り了吗か。



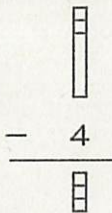
タイルで考える



式	$5 - 2 = 3$
筆算	$\begin{array}{r} 5 \\ - 2 \\ \hline 3 \end{array}$
答	3匹

例2 女の子が7人、男の子が4人います。どちらが何人多いですか。

タイルで考える



式	$7 - 4 = 3$
筆算	$\begin{array}{r} 7 \\ - 4 \\ \hline 3 \end{array}$
答	女の子が3人多い

記号：- …… ひく 減じる マイナス

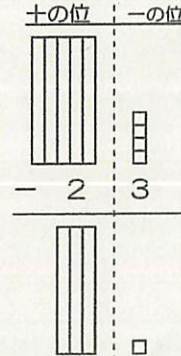
ひき算には「交換の法則」は成り立ちません。

問1 9までのひき算をしましょう。

- |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| ① $\begin{array}{r} 6 \\ - 3 \end{array}$ | ② $\begin{array}{r} 7 \\ - 2 \end{array}$ | ③ $\begin{array}{r} 8 \\ - 2 \end{array}$ | ④ $\begin{array}{r} 9 \\ - 4 \end{array}$ | ⑤ $\begin{array}{r} 9 \\ - 9 \end{array}$ |
| ⑥ $\begin{array}{r} 6 \\ - 5 \end{array}$ | ⑦ $\begin{array}{r} 7 \\ - 5 \end{array}$ | ⑧ $\begin{array}{r} 8 \\ - 4 \end{array}$ | ⑨ $\begin{array}{r} 8 \\ - 6 \end{array}$ | ⑩ $\begin{array}{r} 9 \\ - 7 \end{array}$ |

例3 今日<sup>かしたし</sup>は本の貸出日。数学の本54冊のうち23冊貸し出しました。何冊残っていますか。

タイルで考える



式	-----									
筆算	<table border="1"> <tr> <th>十の位</th> <th>一の位</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>- 2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">-----</td> </tr> </table>	十の位	一の位	5	4	- 2	3	-----		
十の位	一の位									
5	4									
- 2	3									
-----										
答	-----									

筆算でひき算するときは、位をそろえて、一の位から同じ位どうして計算します。

問2 次の計算をしましょう。

- |  |   |   |
|--|---|---|
| ① $\begin{array}{r} 57 \\ - 3 \end{array}$ | ② $\begin{array}{r} 66 \\ - 45 \end{array}$ | ③ $\begin{array}{r} 89 \\ - 37 \end{array}$ |
|--|---|---|

問3 位取りに気をつけて、筆算に直して計算しましょう。

- |                             |                             |
|-----------------------------|-----------------------------|
| ① $75 - 23 =$<br>十の位    一の位 | ② $67 - 32 =$<br>十の位    一の位 |
| ③ $47 - 4 =$<br>十の位    一の位  | ④ $37 - 33 =$<br>十の位    一の位 |

問4 大きな数のひき算に挑戦<sup>ちようせん</sup>しましょう。

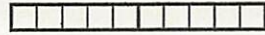
- |   |   |   |
|---|---|---|
| ① $\begin{array}{r} 428 \\ - 316 \end{array}$ | ② $\begin{array}{r} 753 \\ - 401 \end{array}$ | ③ $\begin{array}{r} 9637 \\ - 4213 \end{array}$ |
|---|---|---|





1 10からのひき算

問1 次の計算をしましょう。



①  $\begin{array}{r} 10 \\ - 7 \\ \hline \end{array}$     ②  $\begin{array}{r} 10 \\ - 5 \\ \hline \end{array}$     ③  $\begin{array}{r} 10 \\ - 8 \\ \hline \end{array}$     ④  $\begin{array}{r} 10 \\ - 6 \\ \hline \end{array}$     ⑤  $\begin{array}{r} 10 \\ - 3 \\ \hline \end{array}$

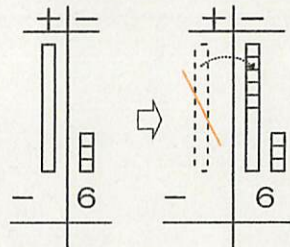
⑥  $\begin{array}{r} 10 \\ - 4 \\ \hline \end{array}$     ⑦  $\begin{array}{r} 10 \\ - 9 \\ \hline \end{array}$     ⑧  $\begin{array}{r} 10 \\ - 1 \\ \hline \end{array}$     ⑨  $\begin{array}{r} 10 \\ - 2 \\ \hline \end{array}$     ⑩  $\begin{array}{r} 10 \\ - 10 \\ \hline \end{array}$

2 くり下がりのあるひき算

例1 公園で子どもが13人遊んでいました。そのうち6人が帰りました。何人残っていますか。

式 \_\_\_\_\_ 答 \_\_\_\_\_

タイルで考える



筆算

$$\begin{array}{r} \text{十} \quad \text{一} \\ 10 \\ - 6 \\ \hline 4 \\ \text{十} \quad \text{一} \\ 4 \\ + 3 \\ \hline 7 \end{array}$$

- ① 一の位。3-6はひけません。十の位の1から1(10)をくり下げる。  
② 十の位は0になる。  
③ 一の位は、  
 $10-6=4$   
 $4+3=7$   
答 7

☆大きい位から隣のと隣のい隣のさ隣のきに移動することを、くり下がるといいます。

★同じ位でひき算が出来ないときは、隣の位からくり下げてひき算さんします。

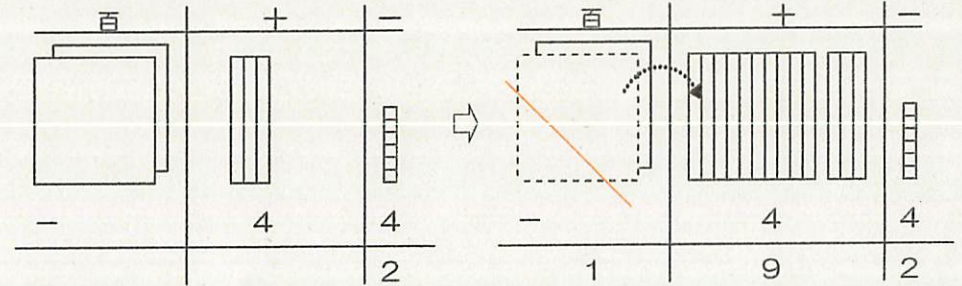
問2 次の計算をしましょう。

①  $\begin{array}{r} 20 \\ - 5 \\ \hline \end{array}$     ②  $\begin{array}{r} 11 \\ - 6 \\ \hline \end{array}$     ③  $\begin{array}{r} 32 \\ - 4 \\ \hline \end{array}$     ④  $\begin{array}{r} 54 \\ - 7 \\ \hline \end{array}$

例2 校庭こうていの栗くりの木から、236個の栗ひろを拾いました。そのうち虫が食っているのが44個ありました。食べられる栗は何個でしょうか。

式 \_\_\_\_\_ 答 \_\_\_\_\_

タイルで考える



筆算

$$\begin{array}{r} \text{百} \quad \text{十} \quad \text{一} \\ 236 \\ - 44 \\ \hline 192 \end{array}$$

- ① 一の位は、6-4=2  
② 十の位は、3-4が計算出来ないの、百の位から1(100)をくり下げる。  
③ 百の位は、1となる。  
④ 十の位は、  
 $10-4=6$   
 $6+3=9$  答 192

問3 次の計算をしましょう

①  $\begin{array}{r} 214 \\ - 54 \\ \hline \end{array}$     ②  $\begin{array}{r} 348 \\ - 66 \\ \hline \end{array}$     ③  $\begin{array}{r} 406 \\ - 72 \\ \hline \end{array}$

問4 次の計算をしましょう。

①  $\begin{array}{r} 343 \\ - 124 \\ \hline \end{array}$     ②  $\begin{array}{r} 381 \\ - 153 \\ \hline \end{array}$     ③  $\begin{array}{r} 556 \\ - 328 \\ \hline \end{array}$   
④  $\begin{array}{r} 508 \\ - 322 \\ \hline \end{array}$     ⑤  $\begin{array}{r} 629 \\ - 357 \\ \hline \end{array}$     ⑥  $\begin{array}{r} 947 \\ - 665 \\ \hline \end{array}$

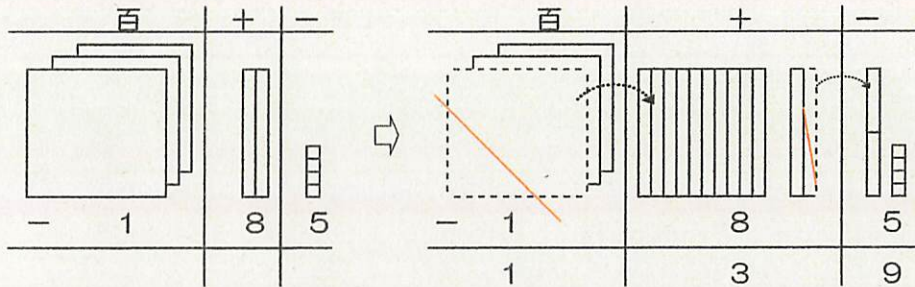


1 いろいろなひき算

例1 しんちくい新築祝いに、おもちを324個準備し、185個まきました。ひんび何個残っていますか。

式 \_\_\_\_\_ 答 \_\_\_\_\_

タイルで考える



筆算

$$\begin{array}{r} & 10 & & \\ & 2 & 1 & 10 \\ 3 & 2 & 4 & \\ - & 1 & 8 & 5 \\ \hline 1 & 3 & 9 & \end{array}$$

- ① 一の位は、4-5 計算出来ないなので、十の位から1(10)をくり下げる。  
10-5=5 5+4=9 一の位は9
- ② 十の位は、2-8 計算出来ないなので、百の位から1(100)をくり下げる。  
10-8=2 2+1=3 十の位は3
- ③ 百の位は1

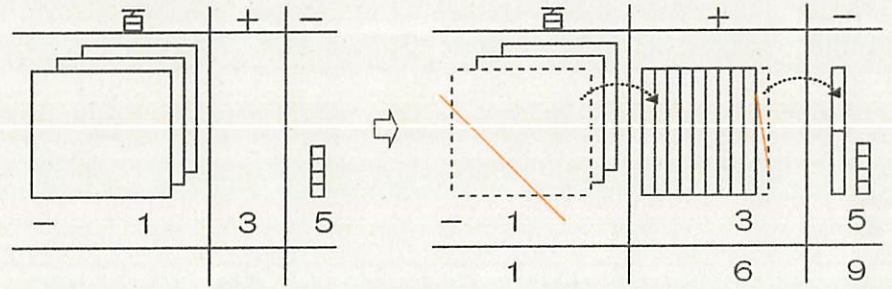
問1 2回のくり下がりに気をつけて計算しましょう。

- ①  $\begin{array}{r} 343 \\ - 154 \end{array}$
- ②  $\begin{array}{r} 321 \\ - 153 \end{array}$
- ③  $\begin{array}{r} 514 \\ - 328 \end{array}$
- ④  $\begin{array}{r} 433 \\ - 135 \end{array}$
- ⑤  $\begin{array}{r} 312 \\ - 125 \end{array}$
- ⑥  $\begin{array}{r} 556 \\ - 368 \end{array}$

例2 子どもたちのために、あんこ餅もちときなこ餅を304個作りしました。あんこ餅は135個です。きなこ餅はいくつですか。

式 \_\_\_\_\_ 答 \_\_\_\_\_

タイルで考える



筆算

$$\begin{array}{r} & 10 & & \\ & 2 & 1 & 10 \\ 3 & 0 & 4 & \\ - & 1 & 3 & 5 \\ \hline 1 & 6 & 9 & \end{array}$$

- ① 一の位 4-5 は計算出来ないなので、十の位から1くり下げようとしたが、0なので出来ません。百の位から十の位へ1(100)くり下げ、さらに一の位へ1(10)くり下げます。
- ② その結果、百の位は2、十の位は9
- ③ 一の位 10-5=5 5+4=9  
十の位 9-3=6  
百の位 2-1=1

問2 くり下がりに気をつけて計算しましょう。

- ①  $\begin{array}{r} 503 \\ - 124 \end{array}$
- ②  $\begin{array}{r} 301 \\ - 154 \end{array}$
- ③  $\begin{array}{r} 800 \\ - 328 \end{array}$

問3 大きな数の計算に挑戦しましょう。

- ①  $\begin{array}{r} 3481 \\ - 1645 \end{array}$
- ②  $\begin{array}{r} 3117 \\ - 1535 \end{array}$
- ③  $\begin{array}{r} 5162 \\ - 3283 \end{array}$



問1 例の解き方を思い出しながら、次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} \text{例} \quad 2 \quad 6 \\ + \quad 2 \\ \hline 2 \quad 8 \end{array}$$

$$\text{①} \quad \begin{array}{r} 4 \quad 1 \\ + 3 \quad 5 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{②} \quad \begin{array}{r} 7 \quad 5 \\ + 2 \quad 3 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{③} \quad \begin{array}{r} 3 \quad 2 \quad 6 \\ + 4 \quad 4 \quad 2 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{④} \quad \begin{array}{r} 6 \quad 4 \quad 2 \\ + 3 \quad 0 \quad 5 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{⑤} \quad \begin{array}{r} 4 \quad 5 \quad 2 \quad 6 \\ + 2 \quad 4 \quad 3 \quad 1 \\ \hline \end{array}$$

問2 例の解き方を思い出しながら、次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} \text{例} \quad 5 \quad 9 \\ + \quad 4 \\ \hline 6 \quad 3 \end{array}$$

$$\text{①} \quad \begin{array}{r} 3 \quad 8 \\ + \quad 5 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{②} \quad \begin{array}{r} \quad 8 \\ + 4 \quad 7 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{③} \quad \begin{array}{r} 1 \quad 6 \\ + 5 \quad 7 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{④} \quad \begin{array}{r} 3 \quad 5 \\ + 5 \quad 5 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{⑤} \quad \begin{array}{r} 3 \quad 9 \\ + 4 \quad 5 \\ \hline \end{array}$$

問3 例の解き方を思い出しながら、次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} \text{例} \quad 8 \quad 7 \\ + 3 \quad 5 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{①} \quad \begin{array}{r} 6 \quad 8 \\ + 4 \quad 3 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{②} \quad \begin{array}{r} 7 \quad 0 \quad 5 \\ + 4 \quad 2 \quad 6 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{③} \quad \begin{array}{r} 2 \quad 7 \quad 4 \\ + 3 \quad 5 \quad 8 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{④} \quad \begin{array}{r} 3 \quad 5 \quad 8 \\ + 4 \quad 6 \quad 2 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{⑤} \quad \begin{array}{r} 8 \quad 4 \quad 4 \\ + 2 \quad 2 \quad 6 \\ \hline \end{array}$$

問4 例の解き方を思い出しながら、次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} \text{例} \quad 5 \quad 7 \\ - \quad 3 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{①} \quad \begin{array}{r} 8 \quad 7 \\ - 2 \quad 5 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{②} \quad \begin{array}{r} 6 \quad 9 \\ - 3 \quad 6 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{③} \quad \begin{array}{r} 5 \quad 8 \quad 7 \\ - 2 \quad 1 \quad 5 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{④} \quad \begin{array}{r} 8 \quad 4 \quad 6 \\ - 3 \quad 0 \quad 4 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{⑤} \quad \begin{array}{r} 5 \quad 7 \quad 4 \quad 6 \\ - 2 \quad 3 \quad 1 \quad 4 \\ \hline \end{array}$$

問5 例の解き方を思い出しながら、次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} \text{例} \quad 3 \quad 5 \quad 1 \\ - 1 \quad 2 \quad 4 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{①} \quad \begin{array}{r} 4 \quad 7 \quad 1 \\ - 2 \quad 4 \quad 4 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{②} \quad \begin{array}{r} 6 \quad 5 \quad 5 \\ - 4 \quad 3 \quad 7 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{③} \quad \begin{array}{r} 5 \quad 0 \quad 7 \\ - 3 \quad 3 \quad 2 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{④} \quad \begin{array}{r} 5 \quad 2 \quad 8 \\ - 2 \quad 6 \quad 7 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{⑤} \quad \begin{array}{r} 8 \quad 3 \quad 7 \\ - 7 \quad 5 \quad 5 \\ \hline \end{array}$$

問6 例の解き方を思い出しながら、次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} \text{例} \quad 3 \quad 4 \quad 3 \\ - 1 \quad 5 \quad 4 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{①} \quad \begin{array}{r} 4 \quad 3 \quad 2 \\ - 2 \quad 5 \quad 4 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{②} \quad \begin{array}{r} 5 \quad 2 \quad 5 \\ - 3 \quad 8 \quad 7 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{③} \quad \begin{array}{r} 4 \quad 4 \quad 2 \\ - 2 \quad 7 \quad 5 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{④} \quad \begin{array}{r} 5 \quad 0 \quad 3 \\ - 2 \quad 2 \quad 6 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{⑤} \quad \begin{array}{r} 7 \quad 0 \quad 0 \\ - 4 \quad 3 \quad 7 \\ \hline \end{array}$$



1 かけ算の意味

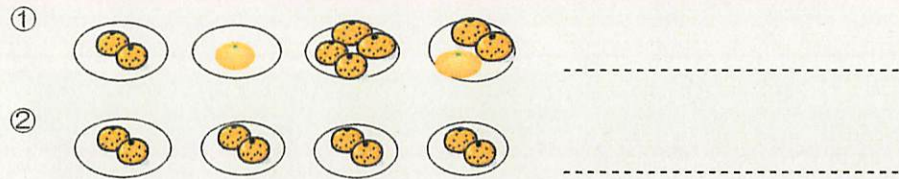
<かけ算のことを乗<sup>じょうほう</sup>法と言います>

- たし算 …… 全体の数を求める計算
- ひき算 …… 残り、差を求める計算
- かけ算 …… 全体の数を求める計算

あれ？たし算も  
かけ算も同じ？



問1 4つの皿にみかんがのっています。みかんは全部で何個ありますか。



①と②の違いはどこですか。

①は \_\_\_\_\_ ②は \_\_\_\_\_

4枚の皿に、同じ数ずつみかんがのっている場合

みかん 1皿あたり2個 → 1あたりの量(数)

皿の数 4枚 → いくつ分

1あたりの量(数) × いくつ分 = 全体の量(数)

1あたりの量が同じ量の時、全体の量を求める計算をかけ算といいます。

× : かけ算の記号 かける

式 \_\_\_\_\_ 答 \_\_\_\_\_

問2 次の文を読んで、「1あたりの数」と「いくつ分」を見つけ、全体の量を求める式を作りましょう。

- ① キャラメル1箱にキャラメルが6個入っています。同じ箱が4つあるとき、キャラメルは全部でいくつありますか。

1あたり数 ( ) いくつ分 ( )

全体の数を求める式 ( )

- ② 鉛筆は1ダースで12本です。今ここに5ダースあるとき、鉛筆全部で何本ありますか。

1あたり数 ( ) いくつ分 ( )

全体の数を求める式 ( )

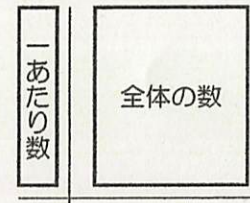
2 五のだんの九九

- 例1 桜の花は1個あたり花びらは5枚あります。今桜の花のつぼみが4つ開きました。全部で何枚花びらがあるでしょうか。

1あたり数 ( ) いくつ分 ( )

全体の数を求める式 ( )

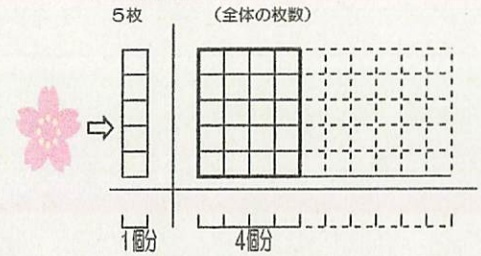
かけ算タイル図



いくつ分

(かけわり図ともいう)

タイル図



答 ( )

①  $5 \times 0 = 0$

②  $5 \times 1 = 5$

③  $5 \times 2 = 10$

④  $5 \times 3 = 15$

⑤  $5 \times 4 = 20$

⑥  $5 \times 5 = 25$

⑦  $5 \times 6 = 30$

⑧  $5 \times 7 = 35$

⑨  $5 \times 8 = 40$

⑩  $5 \times 9 = 45$

⑪  $5 \times 10 = 50$

問3 次のかけ算をしましょう。

①  $5 \times 2 =$

②  $5 \times 5 =$

③  $5 \times 10 =$

④  $5 \times 0 =$

⑤  $5 \times 7 =$

⑥  $5 \times 4 =$

⑦  $5 \times 1 =$

⑧  $5 \times 9 =$

⑨  $5 \times 6 =$

⑩  $5 \times 8 =$

⑪  $5 \times 3 =$



毎日の生活で、一あたり数（量）が使われています。

- ガソリンスタンドで新しい客を捜しています。新しく契約した人には「1リットルあたり2円引き」というサービスがあります。  
1あたり量（ ）
- ある人の日給は5000円です。  
1あたり量（ ）
- この自動車は時速60キロメートルで走ります。  
1あたり量（ ）

1 2のだんの九九を作りましょう。

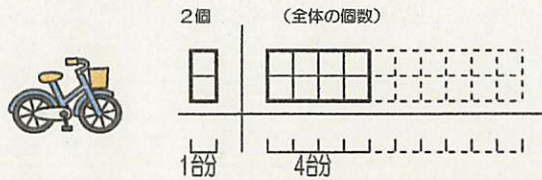
例1 自転車4台あります。車輪は全部でいくつありますか。

1あたり数（ ）

いくつ分（ ）

全体を求める式（ ）

タイルで考える



答（ ）

- ①  $2 \times 0 = 0$
- ②  $2 \times 1 = 2$
- ③  $2 \times 2 = 4$
- ④  $2 \times 3 = 6$
- ⑤  $2 \times 4 = 8$
- ⑥  $2 \times 5 = 10$
- ⑦  $2 \times 6 = 12$
- ⑧  $2 \times 7 = 14$
- ⑨  $2 \times 8 = 16$
- ⑩  $2 \times 9 = 18$
- ⑪  $2 \times 10 = 20$

2 7のだんの九九を作りましょう。

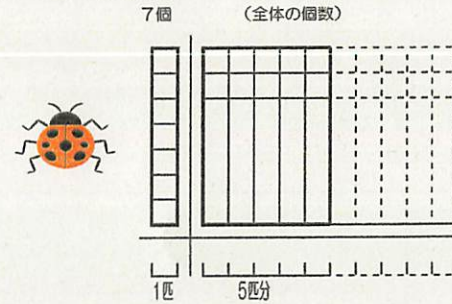
例2 ナナ星テントウ虫が5匹います。星は全部でいくつですか。

1あたり数（ ）

いくつ分（ ）

全体を求める式（ ）

タイルで考える



答（ ）

- ①  $7 \times 0 = 0$
- ②  $7 \times 1 = 7$
- ③  $7 \times 2 = 14$
- ④  $7 \times 3 = 21$
- ⑤  $7 \times 4 = 28$
- ⑥  $7 \times 5 = 35$
- ⑦  $7 \times 6 = 42$
- ⑧  $7 \times 7 = 49$
- ⑨  $7 \times 8 = 56$
- ⑩  $7 \times 9 = 63$
- ⑪  $7 \times 10 = 70$

問 次のかけ算をしましょう。

- ①  $7 \times 4 =$
- ②  $2 \times 8 =$
- ③  $7 \times 2 =$
- ④  $2 \times 3 =$
- ⑤  $7 \times 1 =$
- ⑥  $2 \times 5 =$
- ⑦  $7 \times 5 =$
- ⑧  $2 \times 6 =$
- ⑨  $7 \times 0 =$
- ⑩  $2 \times 7 =$
- ⑪  $7 \times 8 =$
- ⑫  $2 \times 1 =$
- ⑬  $7 \times 7 =$
- ⑭  $2 \times 0 =$
- ⑮  $7 \times 9 =$
- ⑯  $2 \times 9 =$
- ⑰  $7 \times 10 =$
- ⑱  $2 \times 2 =$
- ⑲  $7 \times 6 =$
- ⑳  $2 \times 4 =$
- ㉑  $7 \times 3 =$
- ㉒  $2 \times 10 =$



1 3のだんの九九を作しましょう。

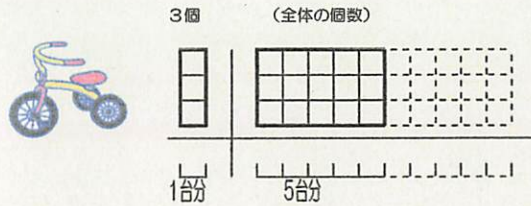
例1 公園に三輪車が5台とまっていました。全部で車輪はいくつですか。

1あたり数 ( )

いくつ分 ( )

全体を求める式 ( )

タイルで考える



答 ( )

- ①  $3 \times 0 = 0$
- ②  $3 \times 1 =$
- ③  $3 \times 2 =$
- ④  $3 \times 3 =$
- ⑤  $3 \times 4 =$
- ⑥  $3 \times 5 =$
- ⑦  $3 \times 6 =$
- ⑧  $3 \times 7 =$
- ⑨  $3 \times 8 =$
- ⑩  $3 \times 9 =$
- ⑪  $3 \times 10 = 30$

問 次のかけ算をしましょう。

- |                  |                   |                  |
|------------------|-------------------|------------------|
| ① $3 \times 4 =$ | ② $8 \times 8 =$  | ③ $3 \times 2 =$ |
| ④ $1 \times 7 =$ | ⑤ $3 \times 1 =$  | ⑥ $8 \times 5 =$ |
| ⑦ $8 \times 3 =$ | ⑧ $8 \times 6 =$  | ⑨ $3 \times 0 =$ |
| ⑩ $3 \times 5 =$ | ⑪ $1 \times 5 =$  | ⑫ $8 \times 1 =$ |
| ⑬ $8 \times 7 =$ | ⑭ $3 \times 8 =$  | ⑮ $3 \times 9 =$ |
| ⑯ $3 \times 7 =$ | ⑰ $8 \times 0 =$  | ⑱ $1 \times 2 =$ |
| ⑲ $8 \times 9 =$ | ⑳ $3 \times 10 =$ | ㉑ $8 \times 2 =$ |
| ㉒ $3 \times 6 =$ | ㉓ $8 \times 4 =$  | ㉔ $3 \times 3 =$ |

2 8のだんの九九を作しましょう。

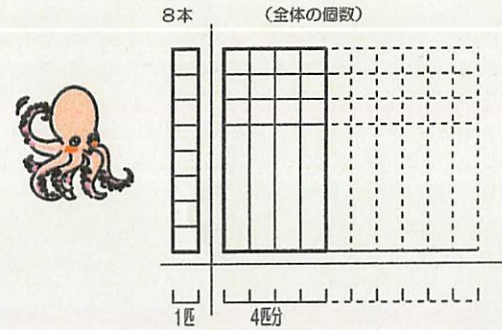
例3 海でたこを4ひき釣りました。たこの足は全部で何本ですか。

1あたり数 ( )

いくつ分 ( )

全体を求める式 ( )

タイルで考える



答 ( )

- ①  $8 \times 0 = 0$
- ②  $8 \times 1 =$
- ③  $8 \times 2 =$
- ④  $8 \times 3 =$
- ⑤  $8 \times 4 =$
- ⑥  $8 \times 5 =$
- ⑦  $8 \times 6 =$
- ⑧  $8 \times 7 =$
- ⑨  $8 \times 8 =$
- ⑩  $8 \times 9 =$
- ⑪  $8 \times 10 = 80$

3 1のだんの九九を作しましょう

例2 畑に一本足のかかしが6本立っていました。

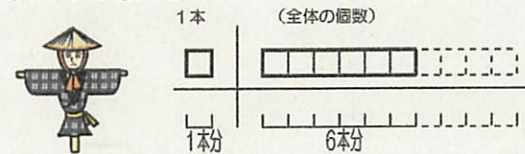
かかしの足は全部で何本ですか。

1あたり数 ( )

いくつ分 ( )

全体を求める式 ( )

タイルで考える



答 ( )

- ①  $1 \times 0 = 0$
- ②  $1 \times 1 =$
- ③  $1 \times 2 =$
- ④  $1 \times 3 =$
- ⑤  $1 \times 4 =$
- ⑥  $1 \times 5 =$
- ⑦  $1 \times 6 =$
- ⑧  $1 \times 7 =$
- ⑨  $1 \times 8 =$
- ⑩  $1 \times 9 =$
- ⑪  $1 \times 10 = 10$



1 6のだんの九九を作りましょう。

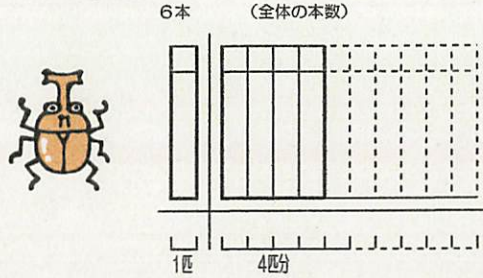
例1 カブトムシの足は6本あります。かごの中に4匹います。カブトムシの足は全部で何本ありますか。

1あたり数 ( )

いくつ分 ( )

全体の数を求める式 ( )

タイルで考える



答 ( )

- ①  $6 \times 0 = 0$
- ②  $6 \times 1 =$
- ③  $6 \times 2 =$
- ④  $6 \times 3 =$
- ⑤  $6 \times 4 =$
- ⑥  $6 \times 5 =$
- ⑦  $6 \times 6 =$
- ⑧  $6 \times 7 =$
- ⑨  $6 \times 8 =$
- ⑩  $6 \times 9 =$
- ⑪  $6 \times 10 = 60$

問 次のかけ算をしましょう。

- |                  |                  |                  |
|------------------|------------------|------------------|
| ① $4 \times 4 =$ | ② $9 \times 8 =$ | ③ $4 \times 2 =$ |
| ④ $6 \times 7 =$ | ⑤ $4 \times 1 =$ | ⑥ $9 \times 5 =$ |
| ⑦ $9 \times 3 =$ | ⑧ $9 \times 6 =$ | ⑨ $6 \times 8 =$ |
| ⑩ $4 \times 5 =$ | ⑪ $6 \times 5 =$ | ⑫ $9 \times 1 =$ |
| ⑬ $9 \times 7 =$ | ⑭ $4 \times 8 =$ | ⑮ $6 \times 3 =$ |
| ⑯ $4 \times 7 =$ | ⑰ $6 \times 9 =$ | ⑱ $4 \times 9 =$ |
| ⑲ $6 \times 4 =$ | ⑳ $6 \times 1 =$ | ㉑ $6 \times 2 =$ |
| ㉒ $9 \times 9 =$ | ㉓ $6 \times 6 =$ | ㉔ $9 \times 2 =$ |
| ㉕ $4 \times 6 =$ | ㉖ $9 \times 4 =$ | ㉗ $4 \times 3 =$ |

2 4のだんの九九を作りましょう。

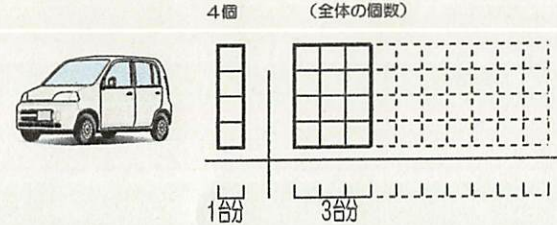
例2 駐車場に自動車が3台とまっています。車輪は全部で何個ありますか。

1あたり数 ( )

いくつ分 ( )

全体の数を求める式 ( )

タイルで考える



答 ( )

- ①  $4 \times 0 = 0$
- ②  $4 \times 1 =$
- ③  $4 \times 2 =$
- ④  $4 \times 3 =$
- ⑤  $4 \times 4 =$
- ⑥  $4 \times 5 =$
- ⑦  $4 \times 6 =$
- ⑧  $4 \times 7 =$
- ⑨  $4 \times 8 =$
- ⑩  $4 \times 9 =$
- ⑪  $4 \times 10 = 40$

3 9のだんの九九を作りましょう。

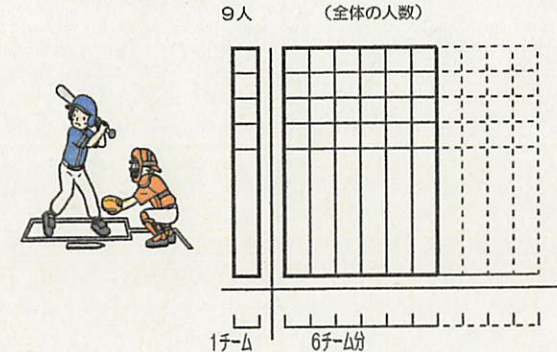
例3 野球は1チーム9人の選手で試合をします。今日は6チーム集まり試合をします。選手は全部で何人いますか。

1あたり数 ( )

いくつ分 ( )

全体の数を求める式 ( )

タイルで考える



答 ( )

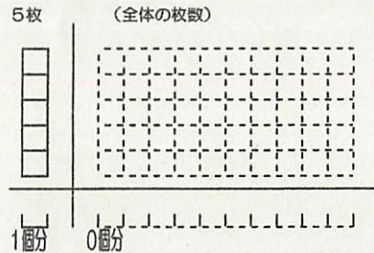
- ①  $9 \times 0 = 0$
- ②  $9 \times 1 =$
- ③  $9 \times 2 =$
- ④  $9 \times 3 =$
- ⑤  $9 \times 4 =$
- ⑥  $9 \times 5 =$
- ⑦  $9 \times 6 =$
- ⑧  $9 \times 7 =$
- ⑨  $9 \times 8 =$
- ⑩  $9 \times 9 =$
- ⑪  $9 \times 10 = 90$



1 0をかける。

例1 桜の花1個あたり、花びらは5枚あります。今、桜の木には、まだ花が咲いていません。花びらは何枚ありますか。

タイル図



花1個あたり 花びら ( ) 枚  
 桜の花いくつ分 ( ) 個分  
 式 ( )  
 答 ( ) 枚

2 0にかける

例2 かえるはおへそがありません。ここにかえるが3匹います。おへそは全部で何個ありますか。

タイル図



かえる1匹あたり おへそ ( ) 個  
 かえる いくつ分 ( ) 匹分  
 式 ( )  
 答 ( ) 個

☆ ある数に0をかけると、答は0になります。

★ 0にある数をかけると、答は0になります。

3 かけ算の交換の法則

たし算は交換の法則が成り立ちました。  $5+2=2+5$

かけ算は成り立ちますか。  $5 \times 2 = ( )$   $2 \times 5 = ( )$

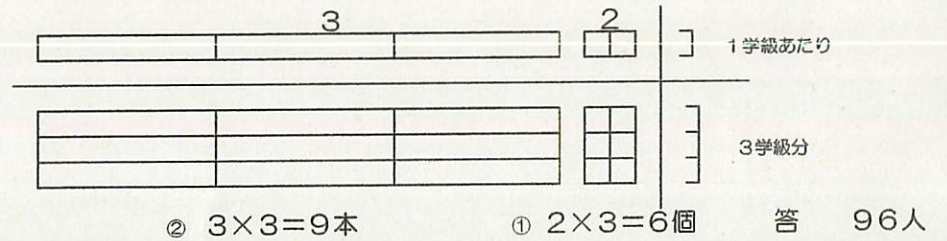
たし算とかけ算は交換の法則が成り立ちます。

4 (ニケタ) × (一ケタ) のかけ算 (くり上がりがないかけ算)

例3 ある学校の1年生は、1学級あたり32人の生徒がいます。1年生は3学級あります。1年生の生徒は全部で何人いますか。

1学級あたり ( ) 人で、( ) 学級分だから、  
 式 ( )

タイルで考える



(筆算)

$$\begin{array}{r} 32 \\ \times 3 \\ \hline 96 \end{array}$$

①  $3 \times 2 = 6$

②  $3 \times 3 = 9$  ( $3 \times 3 \times 10 = 90$ )

30の意味 90の意味

問 次の計算をしましょう。

- |   |   |   |
|---|---|---|
| ① $\begin{array}{r} 12 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$ | ② $\begin{array}{r} 23 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$ | ③ $\begin{array}{r} 34 \\ \times 2 \\ \hline \end{array}$ |
| ④ $\begin{array}{r} 11 \\ \times 7 \\ \hline \end{array}$ | ⑤ $\begin{array}{r} 48 \\ \times 1 \\ \hline \end{array}$ | ⑥ $\begin{array}{r} 20 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$ |
| ⑦ $\begin{array}{r} 22 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$ | ⑧ $\begin{array}{r} 21 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$ | ⑨ $\begin{array}{r} 34 \\ \times 0 \\ \hline \end{array}$ |

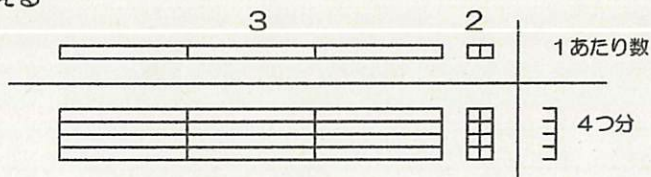




1 十の位からくり上がりのあるかけ算

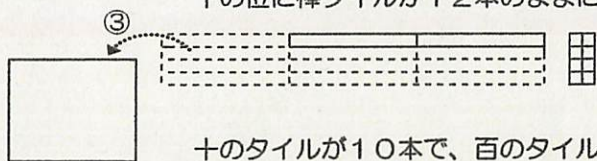
例1  $32 \times 4$  を計算します。

タイルで考える



②  $3 \times 4 = 12$ 本      ①  $2 \times 4 = 8$ 個

このままで答えが出るでしょうか。  
十の位に棒タイルが12本のままに出来ません。



十のタイルが10本で、百のタイル1枚になりました。  
これを「くり上がり」と言いました。

百タイル1枚、十のタイル2本、一のタイル8個で、答 128

筆算

$$\begin{array}{r} 32 \\ \times 4 \\ \hline 128 \end{array}$$

- ①  $4 \times 2 = 8$
- ②  $4 \times 3 = 12$  (3は30、12は120の意味)
- ③ 12の1は、百の位に「くり上がる」

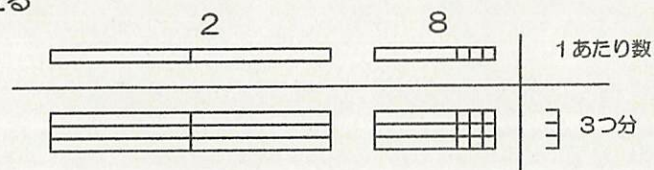
問1 次の計算をしましょう。

- ①  $\begin{array}{r} 63 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$
- ②  $\begin{array}{r} 52 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$
- ③  $\begin{array}{r} 41 \\ \times 5 \\ \hline \end{array}$
- ④  $\begin{array}{r} 20 \\ \times 5 \\ \hline \end{array}$
- ⑤  $\begin{array}{r} 71 \\ \times 2 \\ \hline \end{array}$
- ⑥  $\begin{array}{r} 82 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$

2 一の位からくり上がるかけ算

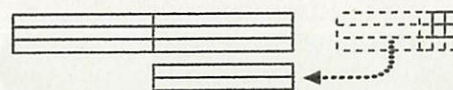
例2  $28 \times 3$  を計算します。

タイルで考える



②  $2 \times 3 = 6$ 本      ①  $8 \times 3 = 24$ 個

このままで答えが出るでしょうか。  
一の位にバラタイルが24個のままに出来ません。



五のタイル3本、一のタイル5個で、棒タイル2本になりました。  
これも「くり上がり」です。

十のタイル8本、一のタイル4個で、答 84

筆算

$$\begin{array}{r} 28 \\ \times 3 \\ \hline 84 \end{array}$$

- ①  $3 \times 8 = 24$   
24のうち、2は十の位にくり上がるので、一の位は4。  
(くり上がる数は忘れるので書き残す)
- ②  $3 \times 2 = 6$   
6とくり上がった2をたして、十の位は8。

問2 次の計算をしましょう。

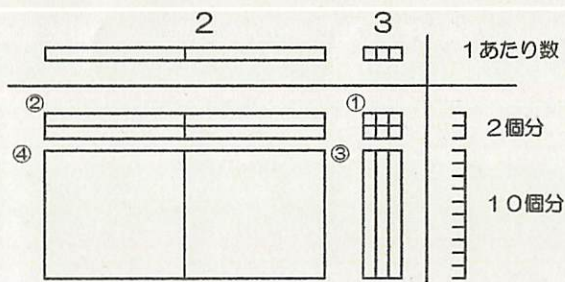
- ①  $\begin{array}{r} 17 \\ \times 5 \\ \hline \end{array}$
- ②  $\begin{array}{r} 29 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$
- ③  $\begin{array}{r} 38 \\ \times 2 \\ \hline \end{array}$
- ④  $\begin{array}{r} 23 \\ \times 7 \\ \hline \end{array}$
- ⑤  $\begin{array}{r} 34 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$
- ⑥  $\begin{array}{r} 65 \\ \times 2 \\ \hline \end{array}$



1 大きな数をかける。(くり上がりなし)

例1  $23 \times 12$  を計算します。

タイルで考える



- ①バラタイル  $3 \times 2 =$  6個
- ②十タイル  $2 \times 2 =$  4本
- ③十タイル  $3 \times 1 =$  3本
- ④百タイル  $2 \times 1 =$  2枚

合計 2枚7本6個 答 276

筆算

$$\begin{array}{r} 23 \\ \times 12 \\ \hline 46 \\ + 23 \\ \hline 276 \end{array}$$

- ①2の段  $2 \times 3 = 6$
- ②  $2 \times 2 = 4$
- ③1の段  $1 \times 3 = 3$
- ④  $1 \times 2 = 2$

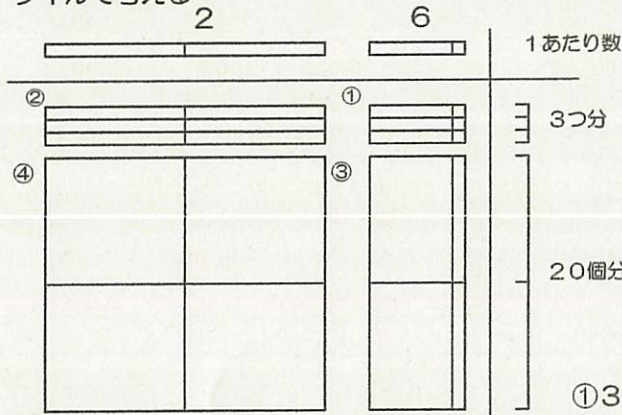
問1 次の計算をしましょう。

- ①  $\begin{array}{r} 21 \\ \times 32 \\ \hline \end{array}$
- ②  $\begin{array}{r} 23 \\ \times 13 \\ \hline \end{array}$
- ③  $\begin{array}{r} 72 \\ \times 11 \\ \hline \end{array}$
- ④  $\begin{array}{r} 31 \\ \times 31 \\ \hline \end{array}$
- ⑤  $\begin{array}{r} 20 \\ \times 34 \\ \hline \end{array}$
- ⑥  $\begin{array}{r} 10 \\ \times 53 \\ \hline \end{array}$

2 大きな数をかける。(くり上がりあり)

例2  $26 \times 23$  を計算する。

タイルで考える



- ①バラタイル  $6 \times 3 =$  1本8個
- ②十タイル  $2 \times 3 =$  6本
- ③十タイル  $6 \times 2 =$  1枚2本
- ④百タイル  $2 \times 2 =$  4枚

合計 5枚9本8個

筆算

$$\begin{array}{r} 26 \\ \times 23 \\ \hline 78 \\ + 52 \\ \hline 598 \end{array}$$

- ①3の段  $3 \times 6 = 18$   
1がくり上がる
- ②  $3 \times 2 = 6$   
6に1をたして7
- ③2の段  $2 \times 6 = 12$   
1がくり上がる
- ④  $2 \times 2 = 4$   
4に1をたして5

問2 次の計算をしましょう。

- ①  $\begin{array}{r} 12 \\ \times 65 \\ \hline \end{array}$
- ②  $\begin{array}{r} 26 \\ \times 23 \\ \hline \end{array}$
- ③  $\begin{array}{r} 26 \\ \times 73 \\ \hline \end{array}$
- ④  $\begin{array}{r} 48 \\ \times 94 \\ \hline \end{array}$
- ⑤  $\begin{array}{r} 9 \\ \times 73 \\ \hline \end{array}$
- ⑥  $\begin{array}{r} 85 \\ \times 23 \\ \hline \end{array}$



1 2ケタのかけ算を学習したので、その発展として、3ケタ以上のかけ算も同じようにして計算出来ます。

難しくなるわけではありません。同じことを何回も繰り返すだけです。その時、かけ算するとき、たし算するときにくり上がりに注意します。

例1  $213 \times 432$  を計算します。

筆算

$$\begin{array}{r}
 213 \\
 \times 432 \\
 \hline
 426 \\
 639 \\
 852 \\
 \hline
 912016
 \end{array}$$

- ① 2の段  $2 \times 3 = 6$
- ②  $2 \times 1 = 2$
- ③  $2 \times 2 = 4$
- ④ 3の段  $3 \times 3 = 9$
- ⑤  $3 \times 1 = 3$
- ⑥  $3 \times 2 = 6$
- ⑦ 4の段  $4 \times 3 = 12$
- ⑧  $4 \times 1 = 4$   
1 くり上がる  
4に1を加えて5
- ⑨  $4 \times 2 = 8$
- ⑩ くり上がりに注意してたし算します。

問1 次のかけ算をしましょう。

①

$$\begin{array}{r}
 315 \\
 \times 124 \\
 \hline
 \\
 \\
 \\
 \hline
 \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r}
 423 \\
 \times 315 \\
 \hline
 \\
 \\
 \\
 \hline
 \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r}
 213 \\
 \times 432 \\
 \hline
 \\
 \\
 \\
 \hline
 \end{array}$$

④

$$\begin{array}{r}
 534 \\
 \times 273 \\
 \hline
 \\
 \\
 \\
 \hline
 \end{array}$$

## 2 かけ算の工夫

1個6円のあめ玉を1個買ったとき、  
10個買ったとき…の値段は、……

$$\begin{array}{l}
 6 \times 1 = 6 \quad (\text{円}) \\
 6 \times 10 = 60 \quad (\text{円}) \\
 6 \times 100 = \\
 6 \times 1000 =
 \end{array}$$

1個6円のあめ玉を2個買ったとき、  
20個買ったとき…の値段は、……

$$\begin{array}{l}
 6 \times 2 = 12 \quad (\text{円}) \\
 6 \times 20 = 120 \quad (\text{円}) \\
 6 \times 200 = \\
 6 \times 2000 =
 \end{array}$$

かける数が10倍、100倍……になると、答も10倍、100倍……になります。

例2  $324 \times 200$  を計算します。

①  $324 \times 2$  を計算する。

$$\begin{array}{r}
 324 \\
 \times 2 \\
 \hline
 648
 \end{array}$$

② かける数は、2の100倍だから、答も648の100倍になる。  
答 64800

例3  $300 \times 5$  の計算も、交換法則が成り立つので、かけられる数も10倍、100倍になると、答も10倍、100倍になります。

- ①  $3 \times 5 = 15$     ② 3の100倍だから、答も100倍。

答 1500

問2 次のかけ算を、工夫してやりましょう。

①  $5 \times 30$

②  $12 \times 600$

③  $400 \times 8$

④  $2000 \times 14$

⑤  $4500 \times 800$



1 潮干狩りでとった貝を、3人で等しく分けました。3人は入れ物を用意して、1個ずつ入れました。すると3人に等しく分けることが出来ました。

だれにも  
どれにも  
等しく分けるとき、わり算という計算をします。



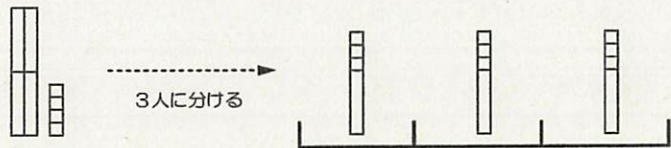
今、3人が分けた貝を数えてみると、1人あたり8個でした。潮干狩りでとった貝は全部で何個ありますか。

① 式 ( ) 答 ( )

$(1 \text{ あたり数}) \times (\text{いくつ分}) = (\text{全体の数})$

結局「24個の貝を3人に等しく分けると、1人分は8個になる」ということです。

(タイルで考える)



ここで「24個の貝を3人で等しく分ける」ことを、

②  $24 \div 3$

と書いて、「24 わる 3」と読みます。その答が「1人分は8個」ですから、

③  $24 \div 3 = 8$

$(\text{全体の数}) \div (\text{いくつ分}) = (1 \text{ あたりの数})$

と書きます。これがわり算の式です。この計算では1人分を求めています。このように1あたりの数を求める計算を、わり算といい、その答を商といいます。

(答の求め方) ①と③を比べてみます。

3 と 何 をかけたら 24 になるか、を考えます。

3の段の九九の中から、 $3 \times \square = 24$  となる数を求めます。

$3 \times 8 = 24$  ですから  $24 \div 3 = 8$  です。

例1  $6 \div 2$  の答は、 $2 \times 3 = 6$ だから、 $6 \div 2 = 3$

問1 次の計算をしましょう。

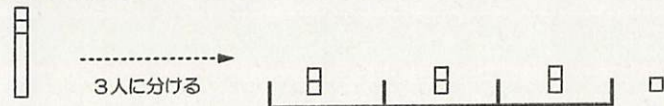
- ①  $14 \div 2$                       ②  $15 \div 3$                       ③  $54 \div 9$
- ④  $36 \div 6$                       ⑤  $21 \div 7$                       ⑥  $40 \div 5$

2 あまりのあるわり算

潮干狩りでとった貝を3人で等しく分けたら、いつもぴったりになるとは限りません。

次の日、貝はあまりとれず、たった7個でした。3人で等しく分けると、1人あたり何個でしょうか。また、何個あまるでしょうか

(タイルで考える)



1人分は2個で、あまりは1個です。これを、

$7 \div 3 = 2 \text{ 残り } 1$

と書きます。このわり算の商は1人あたり2個で、あまり1個です。

(筆算) わり算の筆算には、「 $\overline{\hspace{1cm}}$ 」という記号を使って、記号の中に「わられる数7」を書いて、左に「わる数3」を書きます。

$3 \overline{) 7}$

3でわりますから、3の段の九九から、7に近い数をさがします。  
 $3 \times 2 = 6$ ですから、

$3 \overline{) 7} \quad \dots\dots 2 \text{ をたてる (商)}$   
 $\underline{6} \quad \dots\dots 3 \text{ と } 2 \text{ をかける}$   
 $1 \quad \dots\dots 7 \text{ から } 6 \text{ をひく (あまり)}$

24個の貝を3人で分けるとき、筆算はどうなりますか。

問2 次のわり算をしましょう。

- ①  $2 \overline{) 9}$                       ②  $7 \overline{) 9}$                       ③  $6 \overline{) 6}$                       ④  $3 \overline{) 8}$
- ⑤  $7 \overline{) 69}$                       ⑥  $5 \overline{) 47}$                       ⑦  $3 \overline{) 11}$                       ⑧  $6 \overline{) 54}$



1 少し大きな数のわり算

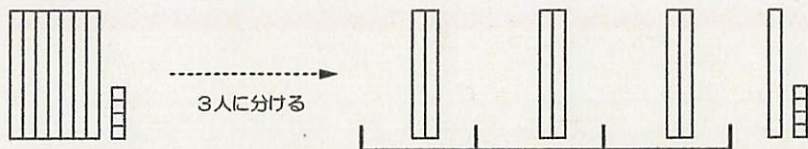
ある数を3でわるときには、3の段の九九を使って計算しました。3の段の九九に出てくる一番大きな数は「さんく27」です。今のところ出来るわり算は、次の問1までです。

問1 ①  $28 \div 3 =$                       ②  $29 \div 3 =$

例1 それでは、30より大きい数、たとえば74を3でわってみましょう。

ある日、貝が74個取れました。それを3人で等しく分けるとき、とても多いので1個ずつ配るのではなく、まず10個ずつ袋に入れることにしました。そうすると、貝7袋と4個になります。まず10個入った袋から配ります。

(タイルで考える)



(筆算) 
$$\begin{array}{r} 24 \\ 3 \overline{) 74} \\ \underline{6} \phantom{4} \\ 14 \\ \underline{12} \\ 2 \end{array}$$
 ... ①2をたてる                      1人あたり2袋配って、1袋と4個(すなわち14個)あまります。  
 ... ②3と2をかける  
 ... ③7から6をひく・④4をおろす

次に1袋と4個を配ります。その時袋から出して配らなければなりません。

(タイルで考える)



(筆算) 
$$\begin{array}{r} 24 \phantom{4} \\ 3 \overline{) 74} \\ \underline{6} \phantom{4} \\ 14 \\ \underline{12} \phantom{4} \\ 24 \\ \underline{24} \\ 0 \end{array}$$
 ... ①2をたてる                      ... ①4をたてる  
 ... ②3と2をかける  
 ... ③7から6をひく・④4をおろす  
 ... ②3と4をかける  
 ... ③14から12をひく

$74 \div 3 = 24$     残り2

つまり、74個の貝を3人で分けると、一人あたり24個で2個あまります。

問2 次のわり算をしましょう。

- ①  $2 \overline{) 58}$     ②  $5 \overline{) 78}$     ③  $4 \overline{) 65}$     ④  $3 \overline{) 81}$

2 もっと大きな数のわり算

まとめて分ける、ということで、かけ算九九を使って、もっと大きな数のわり算が出来ます。難しくなるわけではありません。同じことを繰り返すだけです。

例2  $524 \div 3$  を計算します。

$$\begin{array}{r} 1 \\ 3 \overline{) 524} \\ \underline{3} \phantom{24} \\ 22 \\ \underline{21} \\ 14 \end{array}$$
 ...たてる  
 ...かける  
 ...ひく

→

$$\begin{array}{r} 1 \\ 3 \overline{) 524} \\ \underline{3} \phantom{24} \\ 22 \\ \underline{22} \\ 4 \end{array}$$
 ...おろす

$$\begin{array}{r} 17 \\ 3 \overline{) 524} \\ \underline{3} \phantom{24} \\ 22 \\ \underline{21} \\ 14 \end{array}$$
 ...たてる  
 ...かける  
 ...ひく

→

$$\begin{array}{r} 17 \\ 3 \overline{) 524} \\ \underline{3} \phantom{24} \\ 22 \\ \underline{22} \\ 14 \end{array}$$
 ...おろす

$$\begin{array}{r} 174 \\ 3 \overline{) 524} \\ \underline{3} \phantom{24} \\ 22 \\ \underline{21} \\ 14 \\ \underline{12} \\ 2 \end{array}$$
 ...たてる  
 ...かける  
 ...ひく

→    おわり

$524 \div 3 = 174$     残り2

大きな数のわり算は「たてる-かける-ひく-おろす」を繰り返すだけです。

問3 次のわり算をしましょう。

- ①  $2 \overline{) 358}$     ②  $5 \overline{) 727}$     ③  $3 \overline{) 521}$



計算をするときに、0に気をつけることはとても大切です。たとえば、

$$\begin{array}{r} 785 \\ - 735 \\ \hline 050 \end{array} \quad \text{ではなくて} \quad \begin{array}{r} 785 \\ - 735 \\ \hline 50 \end{array}$$

です。数字を書くときには、先頭の0は書きません。しかし数字の後ろにある0を消してはいけません。50が5になってしまいます。それは「位」を表す大事な0だからです。わり算でも0に気をつける！です。

1 0がたつとき

例1  $914 \div 3$  を計算します。

$$\begin{array}{r} 304 \\ 3 \overline{) 914} \\ \underline{9} \phantom{0} \\ 0 \phantom{0} \\ \underline{14} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{l} \dots\dots 1つを3人で分けることが出来ないので、0がたち、「かけるーひく」をすると、また同じ数1になるので、次のように計算します。 \end{array} \quad \begin{array}{r} 304 \\ 3 \overline{) 914} \\ \underline{9} \phantom{0} \\ 14 \\ \underline{12} \\ 2 \end{array}$$

問1 次のわり算をしましょう。

①  $4 \overline{) 823}$       ②  $3 \overline{) 914}$       ③  $9 \overline{) 984}$

2 計算の途中の0

例2  $608 \div 3$  を計算します。

$$\begin{array}{r} 202 \\ 3 \overline{) 608} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 0 \phantom{0} \\ \underline{08} \\ 6 \\ \underline{6} \\ 2 \end{array} \quad \begin{array}{l} \dots\dots 1のように考えて \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 202 \\ 3 \overline{) 608} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 08 \\ \underline{6} \\ 2 \end{array} \quad \begin{array}{l} \dots\dots 始めの0は書かない。 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 202 \\ 3 \overline{) 608} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 8 \\ \underline{6} \\ 2 \end{array}$$

例3  $178 \div 3$  を計算します。

$$\begin{array}{r} 059 \\ 3 \overline{) 178} \\ \underline{0} \phantom{0} \\ 17 \\ \underline{15} \\ 28 \\ \underline{27} \\ 1 \end{array} \quad \begin{array}{l} \dots\dots 先頭の0は書きません \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 59 \\ 3 \overline{) 178} \\ \underline{0} \phantom{0} \\ 17 \\ \underline{15} \\ 28 \\ \underline{27} \\ 1 \end{array} \quad \begin{array}{l} \dots\dots 1のように考えて \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 59 \\ 3 \overline{) 178} \\ \underline{15} \\ 28 \\ \underline{27} \\ 1 \end{array}$$

このように、0が立つときは「かけるーひく」をはびきます。

問2 次のわり算をしましょう。

①  $4 \overline{) 804}$       ②  $5 \overline{) 405}$       ③  $6 \overline{) 390}$

④  $2 \overline{) 124}$       ⑤  $7 \overline{) 679}$       ⑥  $4 \overline{) 257}$

3 商がたたない

次のわり算をしましょう。

$$8 \overline{) 5}$$

商をたてたいのですが、商がたたない！

そうではないのです。商には0がたつのです。筆算は次のようになります。

$$\begin{array}{r} 0 \\ 8 \overline{) 5} \\ \underline{0} \\ 5 \end{array}$$

たとえば5個の貝殻をひろって8人で分けます。一人あたり何個配れるか、考えます。8人に等しく分けることが出来ませんから、一人あたり0個配って、あまりは5個、と考えます。

問3 つぎのわり算をしましょう。

①  $9 \overline{) 8}$       ②  $7 \overline{) 3}$       ③  $3 \overline{) 1}$       ④  $6 \overline{) 0}$



「21人で潮干狩りに行ったら、貝が96個取れました。みんなで等しく分けると、一人あたり何個配れますか」

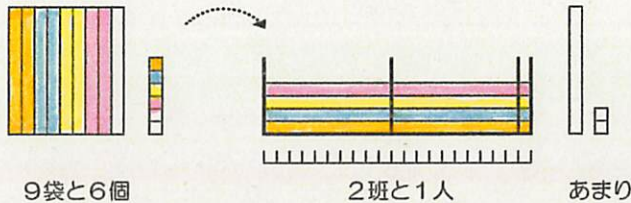
この問題の答を求めるには、次のわり算を使います。

$$96 \div 21$$

大きな数をわるときは、配る貝を10個ずつ袋に入れました。

大きい数でわるときは、同じようにして10人を1つの班にします。

(タイルで考える)



配る相手は2班と1人ですから、2袋と1個を配ると、全員に1個ずつ配ることになります。ですから、9袋6個の貝を2班1人に配ると、各班に4袋、1人に4個配れます。配った貝は全部で、8袋4個です。そして12個あまります。

(筆算) 
$$\begin{array}{r} 4 \\ 21 \overline{) 96} \\ \underline{84} \\ 12 \end{array}$$
 たてる … 4は一人あたりの貝の数  
 かける … 21人全員に配った貝の数  
 ひく … 残った貝の数

1 どのように商を見つけるか。

4という商を見つける方法が分かれば、タイルを使わなくても計算できます。商4は、9本の棒タイルを、10ごとの大きな2つのしきりに分ける計算

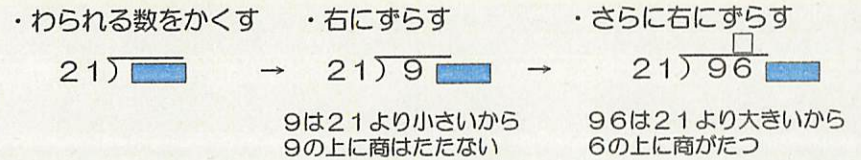
$$9 \div 2 = 4 \text{ あまり } 1$$

から出ていることがわかります。ですから、この計算は、わられる数96の6をいったんかくし、わる数21の1もかくすと、商が求められます。

$$\begin{array}{r} 4 \\ 21 \overline{) 96} \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 8 \phantom{0} \end{array}$$

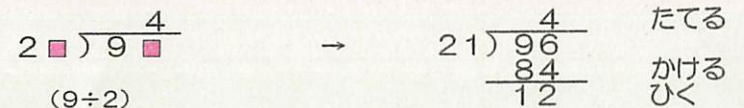
2 わり算を進める順番

①商をたてる位置を決める。



②商の値を見つける。

・わる数とわられる数の1の位の数をかくして、商を見つける。    ・かくした数を出してわり算をする (たてる-かける-ひく)

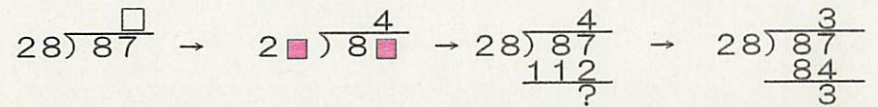


問1 次のわり算をしましょう。

- ①  $24 \overline{) 97}$     ②  $37 \overline{) 77}$     ③  $42 \overline{) 85}$

次に  $87 \div 28$  のわり算を、上の順にしたがって計算してみます。

- ①商の位置をきめる    ②1の位の数をかくして商を考える    ③商を3にしてわり算してみると……



わり算の答(商)は簡単には見つかりません。変だと思ったら近い数で試みます。

問2 次のわり算をしましょう。

- ①  $24 \overline{) 81}$     ②  $29 \overline{) 93}$     ③  $19 \overline{) 75}$



大きな数のわり算の手順は、

- ① わり算の答(商)の位置をきめる。
- ② わる数とわられる数の1の位の数をかくして、商を見つける。

例1  $129 \div 21$  を計算します。

筆算は、 $21 \overline{)129}$  です。

① 商をたてる位置をきめる。

・右にずらす      ・さらに右にずらす      ・さらに右にずらす

$$21 \overline{)1 \quad \square} \rightarrow 21 \overline{)12 \quad \square} \rightarrow 21 \overline{)129 \quad \square}$$

(商はたたない)      (商はたたない)

② 商を見つける

・1の位をかくして商を見つける

$$21 \overline{)129 \quad \square} \rightarrow 2 \square \overline{)12 \quad \square} \rightarrow 21 \overline{)129 \quad \square}$$

( $12 \div 2$ )      たてる  
かける  
ひく

問1 次のわり算をしましょう。

- ①  $53 \overline{)108}$       ②  $41 \overline{)328}$       ③  $63 \overline{)442}$

例2  $237 \div 27$  を計算します。

① 商をたてる位置をきめる。

・右にずらす      ・さらに右にずらす      ・さらに右にずらす

$$27 \overline{)2 \quad \square} \rightarrow 27 \overline{)23 \quad \square} \rightarrow 27 \overline{)237 \quad \square}$$

(商はたたない)      (商はたたない)

② 商を見つける

$$2 \square \overline{)23 \quad \square} \rightarrow 27 \overline{)237 \quad \square}$$

( $23 \div 2$ ) 変だぞ!

$23 \div 2$  で商を見つけると、11になってしまいます。2の段の九九で9より大きい商がたつはずがありません。それでいったん9をたててわり算をしましたが、大きかったので、さらに商を8にしてみたら、わり算が出来ました。

わり算の答(商)は簡単には見つかりません。変だと思ったらいろいろ試みます。

問2 次のわり算をしましょう。

- ①  $23 \overline{)203}$       ②  $16 \overline{)154}$       ③  $46 \overline{)415}$

例3  $157 \div 12$  を計算します。

$$12 \overline{)1 \quad \square} \rightarrow 12 \overline{)15 \quad \square} \rightarrow 12 \overline{)157 \quad \square}$$

13  
12  
37  
36  
1

例4  $9895 \div 63$  を計算します。

$$63 \overline{)98 \quad \square} \rightarrow 63 \overline{)989 \quad \square} \rightarrow 63 \overline{)9895 \quad \square}$$

157  
63  
359  
315  
445  
441  
4

大きな数のわり算も、大きな商が出るわり算も手順①、②は同じです  
そして「たてる-かける-ひく-おろす」を繰り返します。

問3 次のわり算をしましょう。

- ①  $67 \overline{)8241}$       ②  $23 \overline{)7068}$       ③  $47 \overline{)1423}$





今まで計算してきた式は、たし算だけ、かけ算だけ、といった式です。  
 しかしたし算、ひき算、かけ算、わり算がまじった計算が出てくることがあります。  
 そのような計算には、計算する順番についての約束があります。  
 ここでたし算(加法)、ひき算(減法)、かけ算(乗法)、わり算(除法)の4つの  
 計算のことを、**四則**と言います。

1 かけ算・わり算とたし算・ひき算がまじった式の計算

例1 1本230円の缶ジュースを6本と、1箱160円のキャラメルを3箱買  
 と、代金はいくらになりますか。

$$\text{ジュース6本の代金は、} \quad 230 \times 6 = 1380 \quad (\text{円})$$

$$\text{キャラメル3箱の代金は、} \quad 160 \times 3 = 480 \quad (\text{円})$$

ですから、あわせて、

$$1380 + 480 = 1860 \quad (\text{円})$$

です。ここでは、問題を2つに分けて考えましたが、この問題はもともと1つ  
 の問題ですから、答をさがす式も1つにまとめましょう。そうすると、式は、

$$230 \times 6 + 160 \times 3$$

となり、計算方法は、まず前半分のかけ算をし、つぎに後ろ半分のかけ算をして、  
 そして最後の二つのかけ算の答をたしました。つまり、

$$230 \times 6 + 160 \times 3 = 1380 + 480 = 1860 \quad (\text{円})$$

かけ算とたし算・ひき算がまじった計算では、かけ算を先に計算します

問1 計算の順番をよく考えて、次の計算をしましょう。

①  $5 \times 7 + 23 =$

②  $9 \times 5 - 3 \times 4 =$

③  $25 - 3 \times 8 + 18 =$

例2 おり紙で、鶴をおりました。私の班は3人で183個の鶴をおりました。妹の  
 班は4人で140個の鶴をおりました。私の班も妹の班も同じ数ずつ分けて帰  
 りました。私と妹はそれぞれの鶴を糸でつなぎました。いくつつなぎましたか。

私の班は、183個の鶴を3人で等しく分けたので、1人あたりの鶴は、

$$183 \div 3 = 61 \quad (\text{個})$$

妹の班は、140個の鶴を4人で等しく分けたので、1人あたりの鶴は、

$$140 \div 4 = 35 \quad (\text{個})$$

2人が糸でつないだ鶴は、全部で

$$61 + 35 = 96 \quad (\text{個})$$

この計算は1つの問題ですから、1つの式で表すと、

$$183 \div 3 + 140 \div 4 = 61 + 35 = 96 \quad (\text{個})$$

となり、わり算の時もたし算や引き算より先に計算します。

問2 計算の順番をよく考えて、次の計算をしましょう。

①  $12 \div 3 + 68 \div 4 =$

②  $234 \div 3 - 56 \div 7 =$

③  $5 + 12 \div 4 + 72 \div 8 =$

四則のまじった計算では、かけ算・わり算を先に計算し、  
 そのあとで、たし算・ひき算を計算します。

問3 計算の順番をよく考えて、次の計算をしましょう。

①  $12 \div 3 + 12 \times 4 =$

②  $246 \div 3 - 2 \times 7 =$

③  $111 \times 2 - 666 \div 3 + 4 =$



たし算・ひき算・かけ算・わり算がまじった計算では、かけ算・わり算を先に計算し、たし算・ひき算をそのあとに計算しました。

次に、式の中にかっこ( )がある場合はどうなるでしょうか。

2 かっこのある式の計算

例1 1本230円の缶ジュースを3本買って、あとで2本買いました。  
全部で代金はいくらですか。

$$230 \times 3 + 230 \times 2 = 690 + 460 = 1150 \text{ (円)}$$

となります。この代金は、3本+2本=5本分の代金ですから、

$$230 \times (3+2) = 230 \times 5 = 1150 \text{ (円)}$$

と計算することも出来ます。

この式は、かけ算とたし算がまじった式ですが、( )の中たし算を先に計算したあとでかけ算をしています。

かけ算・わり算より先に、たし算・ひき算をするときには、先に計算するところを、かっこ( )の中に入れます。

問1 計算する順番に気をつけて、次の計算をしましょう。

- ①  $(6+3) \times 8 =$
- ②  $3 \times (2+4+6) =$
- ③  $9 \times (7-3) - 63 \div (3+4) =$

ここで、かっこ( )の中に四則計算がまじっているときは、原則通り、かけ算・わり算を先に計算し、そのあとでたし算・ひき算をします。

例2  $(40 - \underbrace{5 \times 4}_{\text{①}}) \times 6 = \underbrace{(40 - 20)}_{\text{②}} \times 6 = \underbrace{20 \times 6}_{\text{③}} = 120$

- ・最初に( )の中の計算
- ・( )の中のひき算
- ・かけ算
- ・( )の中のかけ算から

問2 計算の順番に気をつけて、次の計算をしましょう。

- ①  $(65 - 4 \times 3) + 2 =$
- ②  $65 - (4 \times 3 + 2) =$

3 かけ算とわり算だけがまじった計算

かけ算とわり算だけがまじった計算では、左から順に計算します。

例3  $\underbrace{24 \div 2}_{\text{①}} \times 3 = \underbrace{12 \times 3}_{\text{②}} = 36$

- ・左から順にまずわり算
- ・次にかけ算

問3 次の計算をしましょう。

- ①  $9 \times 6 \div 3 =$
- ②  $18 \div 3 \times 6 =$
- ③  $18 \div (3 \times 6) =$

四則がまじった計算

- ① たし算、ひき算、かけ算、わり算がまじった計算ではかけ算・わり算を先に計算し、そのあとでたし算・ひき算を計算します。
- ② 式の中にかっこ( )があれば、かっこの中を先に計算します。
- ③ かけ算とわり算だけがまじった計算は、左から順に計算します。



1年間、お疲れ様でした